

JICA 海外協力隊連携派遣事業

長期履修制度を活用した大学院在学中の海外協力隊参加について

1. 制度の概要

JICA 海外協力隊連携派遣とは、国際協力機構（JICA）と日本国内の各種団体が連携し、計画的かつ戦略的に協力隊を派遣することにより、開発途上国の課題解決に寄与するとともに、国内における課題解決や人材育成にも貢献することを目的とする制度です。本学では、ケニア、ボリビア、ザンビア、ジブチの農業振興に係る協力隊員派遣による課題解決と国際協力人材の育成に係る覚書を締結し、JICA との連携のもと、本学の知見・専門性・人的資源を活かし、対象国・地域の課題解決および国際協力人材の育成に取り組んでいます。

東京農業大学大学院では「長期履修制度」を活用し、博士前期（修士）課程在学中に JICA 海外協力隊連携派遣に参加することが可能となります。希望者は、JICA 海外協力隊選考（2026 年度募集）と本学大学院入試（2027 年度 4 月入学）の双方に合格することにより、本制度の利用が可能となります。

長期履修制度とは・・・

東京農業大学大学院の長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程は 2 年、博士後期課程は 3 年）で修了することが困難な場合に、標準年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合、審査の上、その長期的な履修を認める制度です。学費は標準修業年限分の学費総額相当額を、長期履修期間に応じて分割納入します。

《注意》一般応募による海外協力隊参加について

本制度は原則として、JICA 海外協力隊連携派遣に参加する方を対象としています。ただし、一般応募（JICA 海外協力隊ホームページ上で一般公開されている要請）に参加する方についても、既に最終合格が確定している場合のみ長期履修申請が可能となります。

2. 申請までの流れ

① 事前相談

本制度の利用を希望する方は、連携事業担当教員及び大学院での指導教員に相談の上、JICA 海外協力隊への応募前にグローバル連携センターまでご連絡ください。応募要件等の海外協力隊に関する詳細は JICA 海外協力隊のホームページを確認し、必要な準備を進めてください。

※JICA 海外協力隊ホームページ：<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/>

<2027 年度 連携派遣事業> 参加にあたっては以下の担当教員にご相談ください。

- ケニア（家政・生活改善、食用作物・稲作栽培、野菜栽培など）：国際農業開発学科 入江憲治 教授
- ザンビア（コミュニティ開発、食用作物・稲作栽培など）：国際農業開発学科 入江憲治 教授
- ボリビア（野菜栽培、コミュニティ開発）：国際農業開発学科 五野日路子 准教授
- ジブチ（農業工学・農業情報、栽培）：生産環境工学科 島田沢彦 教授

② 担当教員推薦書の提出（春募集：2～3月頃 / 秋募集：8～9月頃）

連携事業担当教員からの推薦書を大学から JICA 宛に提出する必要があります。担当教員より推薦書を受領でき次第、グローバル連携センターまでご提出（指定フォーマット有・電子データ提出可）ください。

その際、推薦書と合わせて、協力隊応募者専用マイページのログイン ID 情報も通知する必要があります。まずは、JICA 海外協力隊ホームページ上の募集要項・応募方法をご確認ください。

③ JICA 海外協力隊への応募・選考試験

■ 2026 年度春募集への応募

連携事業担当教員と調整の上、2026 年度春募集に応募してください。一般応募と同じように Web 応募を行う必要がありますので、ご自身で必要な準備を進めてください。

原則として、派遣隊次は **2 次隊** となります。一般応募とは異なり、連携派遣案件は JICA 協力隊ホームページ上で公開されません。職種・要請内容に関する詳細は、連携事業担当教員にお問い合わせください。

■ 2026 年度秋募集への応募になる場合

連携事業担当教員と調整の結果、秋募集に応募する場合は、グローバル連携センターまでお知らせください。応募スケジュールは年度ごとに異なりますので、必ず JICA 海外協力隊ホームページより最新情報をご確認ください。

④ 大学院出願・長期履修申請

大学院指導教員（及び連携事業担当教員）と相談の上、大学院一般入試または社会人特別選抜入試を受験してください。大学院出願手続き期間内に併せて長期履修申請を行う必要があります。後から制度を適用することはできませんので、ご注意ください。

<JICA 海外協力隊応募・大学院出願の流れ>

	協力隊応募時期	大学院入試	長期履修申請期間
連携派遣	春募集（2～3月頃） 可否発表：9月頃	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日（水）～11日（金）
	秋募集（8～9月頃） 可否発表：2月頃	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日（水）～11日（金）
一般応募	春募集（2～3月頃） 可否発表：9月頃	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日（水）～11日（金）
	秋募集（8～9月頃）	長期履修申請不可	

<長期履修申請時に必要となる書類>

提出先：グローバル連携センター

提出書類	提出期日
・ 長期履修申請書（様式 1）	2026 年 12 月 4 日（金）まで
・ 長期履修計画書（様式 2）	
・ 意向確認書（様式 3）	

※様式はグローバル連携センターより対象者に送付します。

3. 入学後から派遣までの流れ

以下は、連携派遣における大学院入学から現地赴任までの流れの一例です。派遣前訓練期間や現地赴任時期は、派遣国・案件ごとに異なりますので、合格通知時の JICA からの案内をご確認ください。

- 連携事業の状況等により、3次隊での参加になる場合は、赴任時期が4月以降となるため、2年間の活動期間を満了できない可能性がありますので、ご注意ください。
- 一般応募案件については、帰国時期の変更・調整不可となるため、必ず2次隊派遣を選択してください。

	【2次隊派遣】		【3次隊派遣】 <u>連携派遣のみ</u>	
	東京農業大学大学院	JICA海外協力隊	東京農業大学大学院	JICA海外協力隊
1 年 目	4月 博士前期課程入学		4月 博士前期課程入学	
	4～8月 前学期履修		4～8月 前学期履修	
		8～10月 派遣前訓練 11～1月 現地赴任 協力隊活動開始	10～1月上旬 後学期履修	
				1～3月 派遣前訓練 4～6月 現地赴任 協力隊活動開始
2 年 目	演習指導のため一次帰国の可能性あり	～協力隊活動継続～		協力隊活動開始
3 年 目		～協力隊活動継続～	演習指導のため一次帰国の可能性あり	～協力隊活動継続～
	11～1月 帰国	2年間の活動満了、帰国		
	帰国後 後学期履修			
4 年 目	4～8月 前学期履修		4月中～下旬 帰国※	活動終了、帰国※
			4～8月 前学期履修	
	10～2月 後学期履修		10～2月 後学期履修	
	3月 博士前期課程修了		3月 博士前期課程修了	

【問い合わせ先】東京農業大学 グローバル連携センター
TEL: 03-5477-2560 / Email: shogaku@nodai.ac.jp